

# 防じんスーツの高度クリーニング作業 山形県初の特例子会社「エプソンスワン」

編集委員 前・法政大学経済学部非常勤講師 氏家麻夫



この三月で、東北エプソン株式会社の特例子会社「エプソンスワン」は操業開始から一年が経過した。半導体などの製造工程で使用する防じんスーツのクリーニング作業に一〇名の知的障害者（うち重度六名）が働いている。山形県初の特例子会社で、県全体の障害者雇用のモデルとして、その後の波及効果が期待されている有限会社エプソンスワンを酒田市に訪ねた。

酒田市は、最上川と日本海が出会い、美しい鳥海山の麓に位置する海、山、川と自然環境に恵まれた街。国際貿易港・酒田港や庄内空港を有し、庄内経済を担う中心都市だ。酒田は、古くから庄内米の集積地として栄えた。米のほか、内陸の特産物である紅花なども、航路で京や大坂、江戸へと運ばれ、ひきかえにさまざまな都市の文化、とくに京文化がもたらされ、「西の堺、東の酒田」などといわれた。酒田の歴史は豪商本間家の歴史でもある。連続テレビ小説「おしん」のロケ地でも知られる山居倉庫や本間美術館など、現在の酒田市の観光スポットの多くは、本間家の資金で作られた。

酒田は白鳥の飛来地としても有名だ。十月中旬から四月上旬まで、広大な最上川河口に、シベリアからの白鳥が羽を休める。飛来数は八、五〇〇羽以上で日本一。お預りした品物を白鳥のように真っ

有限会社エプソンスワン  
(東北エプソン株式会社特例子会社)  
〒998-0194  
山形県酒田市十里塚 166-3  
TEL 0234-31-5977 FAX 0234-31-5860



東北エプソン株式会社  
平林行雄取締役総務部長

白にしてお返しすることをめざし、その白鳥にちなんで、「エプソンスワン」の社名となった。

東北エプソン(株)はセイコーエプソングループの半導体事業の主力工場で、従業員数は約一、九〇〇名。周辺には世界初の個人写真展示館「土門拳記念館」のほか、「酒田市美術館」「東北公益文科大学」などがあり、自然に恵まれた文化ゾーンのなかにある。工場敷地は総面積五四万平方メートル、東京ドームの一二倍、その半分以上が松林などの緑地という恵まれた環境だ。エプソンスワン社は、東北エプソンの三号エネルギー棟の一隅(約三二〇平方メートル)にある。

東北エプソンの主力製品である半導体・インクジェットプリンタ用ヘッド等の製造工程はクリーンルーム化されており、防じんスーツを着用しての作業だ。このスーツのクリーニングには高度な設



有限会社エプソンスワン中村実所長

備が必要で、これまではセイコーエプソン(長野県諏訪市)の特例子会社エプソンミズベ(株)に発注していたが、「エプソンスワン」の設立により、この業務を直接行うことになった。酒田と鶴岡のハローワークを通じて、酒田市、余目町、遊佐町の一八歳から二四歳までの一〇名(男子七名、女子三名)の知的障害者を採用した。トライアル雇用(試行雇用)などを経て、防じんスーツを着用して、仕分けや洗濯、乾燥、折りたたみ、出荷などの仕事に取り組んでいる。

**一〇名の成長がなによりの喜び**

エプソンスワンの中村実所長に、一〇名の仕事ぶりについてお聞きする。

「緊張したり試行錯誤をしたりで、長いようで短い一年でした。この一〇名のメンバーは、本当に成長したと思います。



東北エプソン(株)

最初はおどおどしていたのが、いまでは自分の意見をいえるようになり、自信をもって働くようになってきました。特例子会社とはいえ一つの会社として自立していきたいというのがあります。彼らは一つひとつの仕事に習熟して、目標としていた操業レベルに立派に届えてくれました。採用面接で、うちの子はこの点が心配なんです、と親御さんたちは話されたのですが、実際に仕事してみると私たちの考えとは違ってきている。見違えるように変わったとか、親子のいさかいがなくなり、明るくなったというんですね」

エプソンスワンを軌道にのせるうえで、スタッフとメンバーそして家庭との三者の信頼関係を築くことをなによりも



半導体の製造現場と同水準のクリーンさのなかで洗浄作業等が行われる

大切にして努力したという。スタッフは日常生活の相談から仕事の教育まで、つきっきりで対応し、家庭とは連絡ノートや職場見学などで意思疎通を図り、協力をお願いした。お互いの仕事を手伝うなどの連帯感も生まれ、ここは自分たちの会社だ」といった意識も芽生え、スタッフもエプソンスワンで働く喜びのようなものを感じるという。

作業長の池田邦明さんにもお聞きする。

「エプソンスワンの話がありましたとき、障害者が健常者とともに普通に生活していける場をつくりたいとの思いがありました。最初はとまどうこともありましたが、スワンメンバーのまじめな姿勢、やる気に驚いています。日々新しい発見があり、この仕事の面白さを感じて

います」

### 法定雇用率もクリア

操業開始以来、順調にクリーニング量を増やし、現在、防じんスーツ換算で月当たり一万九、〇〇〇枚、親会社で使用している防じんスーツのすべて、そして外注先の企業のもを扱うまでに成長したという。エプソンスワンの設立で、障害者雇用率一・八%をクリアして二・二%となった。東北エプソンの平林行雄取締役役にこれまでの取り組みについてお聞きする。

「当社は半導体やインクジェットプリンターの心臓部の生産という装置産業で、立ち仕事、二四時間・三六五日交替勤務ということから、これまでも障害者



仕分け・洗濯・乾燥・折りたたみと、忙しく働く10名の知的障害者





仕分け作業を見学する筆者（中央）

雇用には積極的に取り組んできたのですが、こうした作業内容のため、残念ながら法定雇用率の一・八%を超えることが厳しい状況でした。しかし、この庄内地域では、とくに知的障害者の働ける環境が非常に少ないということで、当社としてできることはなにかと模索するなかで、エプソンミズベの先例があったわけです。当社のおかれている企業環境から、特例子会社の道をとりました。この一年をふりかえってみて、トラブルもなく、当初考えた目標に非常にスムーズにたどりつくことができました。

最初は知的障害者について十分な理解もなかったわけですが、エプソンミズベでの実習で、これならいけるといふ感触

を得たことも、スタートに当たって大きな力となりました」

### ミスの許されない作業

防じんスーツのクリーニングはクリーンルームのなかで行う。クリーンルームは、ごく細かなホコリをフィルターで取り除いて、規定されたレベルに管理されている。例えば、クラス一〇〇とは、三〇立方センチの空気中に粒径〇・一サブリミクロンのチリ、ホコリが一〇〇個以下という状態をいう。一般的な部屋なら一〇万個というから、相当なレベルだ。主な工場設備は、クリーン洗濯機三台、クリーン乾燥機三台、靴乾燥機二台、純水製造設備、エアシャワー二台、設備能力は防じんスーツ換算で月当たり約二万着。作業はまず、入荷した防じんスーツ・ミドラーTシャツ・帽子・手袋・インナー手袋・シューズ・ソックスなどの仕分けと異物点検。ついで洗濯物の投入、洗濯された物の取り出し、乾燥機への投入、乾燥が終わると折りたたんで搬送用のコンテナへ箱詰め、そして配送先別に区分けして、出荷ヤードへ搬送する。どの工程もミスは許されない。

クリーニング数量は、一人ひとりの能力や習熟度などに加え、作業のローテーションも考えて、段階的に増加してきた。また二人の指導員は、親代わりとなって

指導できることにポイントをおいて、東北エプソンの全従業員の中からお願いした。指導員の遠田泰子さんと阿部真理子さんは明るい性格の持ち主で、家庭では母親、以前は製品検査や設備管理の仕事をしていったという。

操業に先立ち、スタッフ全員はエプソンミズベで実習を受けた。実習の指導に当たるのはミズベのスタッフではなく、そこで働いているメンバー、つまり知的障害者。彼らの指導を受けて作業をやっていると、この人たちは本当に知的障害者なのだろうかと思ったという。

中村所長と池田作業長は三人に一人と

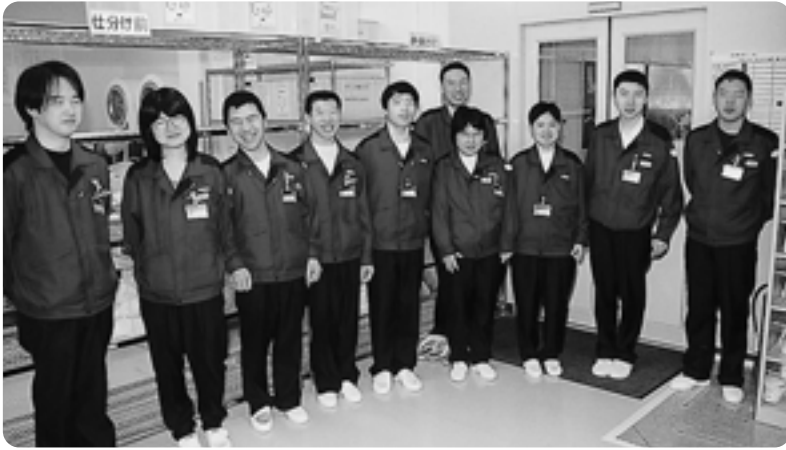


クリーンさが要求される工場なので、手の洗浄、床などのよごれにも気をつかう

いう難関を突破して、クリーニング師の資格を取得した。山形県の実技試験では業務用大型アイロンでのアイロン掛けがあり、試験に備えて、自宅で毎日、Yシャツのアイロン掛けの特訓をしたという。

## 市の協力でバス停も新設

通勤が採用条件なので、事故防止のための十分な対応をしている。一人は家用車通勤を希望したので、警察の運転経



エプソンスワンで働く皆さん

歴証明で確認し、教習所教官が同乗して技量を判断したうえで許可した。また二人は工場の近隣なので徒歩通勤。あとの七名は、朝はJR酒田駅の集合場所から社が契約したタクシーで出社。帰りは市の理解と協力で、循環バスの経路を延長し、バス停も新設した。朝のバスは近隣の大学の通学時間に合わせたダイヤ編成のため、タクシー利用とのこと。

## がんばります！

社内には、入社した一〇名の感想が顔写真とともに張り出してあった。

「二〇人の仲間と仲良くがんばっています。とても楽しい会社です。健康に気をつけ会社を休まないで仕事も早くできるようにがんばりたいと思います。—K君」  
「会社のスタッフや仲間と仲良くし、ていねいな仕事ができるようにしたいと思います。—Kさん」  
「エプソンスワンで働けてとても幸せです。これからもがんばって認められる人になります。—Iさん」  
「自分らしくマイペースでやっていきます。充実した日を送りたいです。—Nさん」  
「会社も仕事も全部新しい事ばかりですが、スタッフの方や仲間と力を合わせてがんばります。—K君」  
「エプソンスワンへ入社して実習体験し、早くも一ヶ月が過ぎました。早く一人前になれるようがんばります。—O君」  
「健



最上川河口に飛来する白鳥

康に気をつけ、会社を休まないで仕事も早くできるようにがんばりたいと思います。—A君」  
「建物が大きくて立派だなと思いました。一生懸命がんばります。よろしく願います。—T君」  
「エプソンスワンで働いてみて、とても忙しい会社です。これからもがんばりたい。—W君」  
「はじめてエプソンスワンに来た時は不安でした。今は仕事を上手になっ

## 地域に新鮮なインパクト

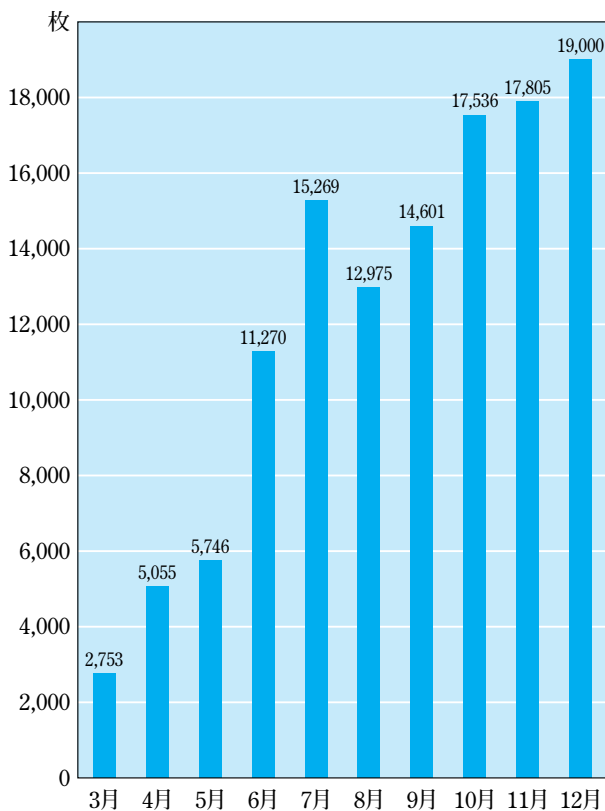
平林取締役は、地域での反響や今後の

IT革命に伴う半導体や精密電子部分野をはじめ、医薬品、医療用、医療分野などでクリーンルームの需要は急速に成長している。これに伴い、防じんスーツ等のクリーニング需要も無限の可能性を秘めている。知的障害者の職域拡大のためにも、防じんスーツを使用している多くの大企業は、助成制度を大いに活用し、エプソンスワンの実績に学んで欲しいと思う。

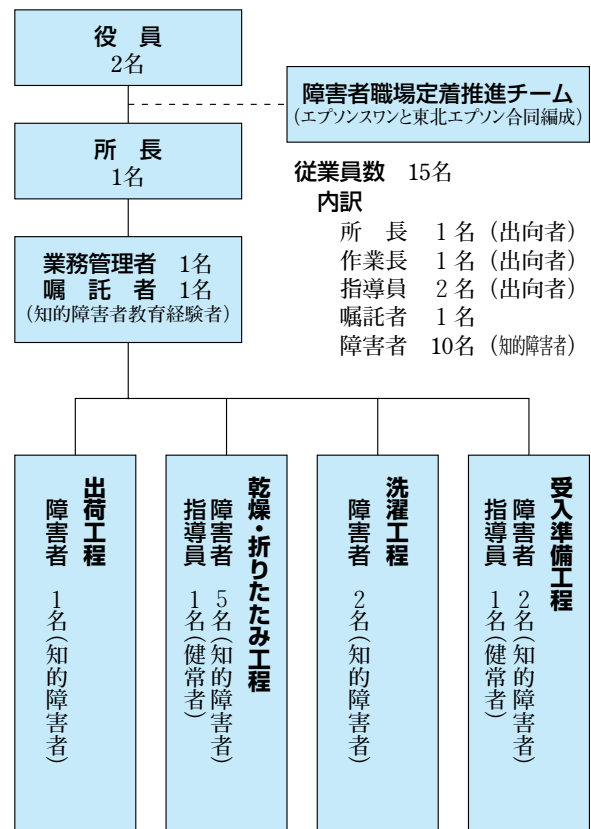
白鳥飛来地でこの2月、くちばしに釣り針が刺さった白鳥がみつかった。発見から4日ぶりに、「酒田市白鳥を愛する会」のメンバーに保護され、親鳥のもとへ無事帰った。こうした温かい人々に囲まれて、エプソンスワンも大きく成長することであろう。

### クリーニング処理量の推移(2002年)

集計方法：クリーンスーツは1着1枚、ミドラーTシャツは1着0.5枚に換算して集計。これ以外にもインナー手袋、フード、シューズなど、集計に表れないアイテムもある。



### 従業員配置



抱負をお聞きする。  
「業務連絡などで県や市へ行きましても、挨拶について出るのはまずエプソンスワンのことですね。知的障害者のために東北エプソンが先陣をきって立ち上げてくれたということで、非常な期待をもってくれている。企業の規模は別にして、働ける環境整備ができれば、知的障害者が十分働けるといふモデルケースを示してくれたという期待ですね。民間団体や企業の会合などでも問い合わせがよくありますし、地域に対してエプソンスワンはかなりインパクトを与えたように思います。当初の予定では、東北エプソンで着用している防じんスーツのクリーニングを一〇〇%消化する体制をつくりあげ、次のステップで当社と取り引きのある会社の防じんスーツを引き受けるということでしたが、これはすでにやっています。できれば今後は、庄内周辺には他の半導体メーカーがありますので、そこで使用している防じんスーツも扱えたらと考えています」

エプソンスワンの正面壁面には、自社製のプリンターで印刷したスワン飛翔の大型パネルが飾ってあった。  
防じんスーツ姿で、ときばきと仕事をすする彼らを見てみると、大空に向けて力強く飛翔するスワンの姿をみているような気がした。